

報道関係者各位

2026年3月吉日

公益社団法人ピースボート災害支援センター

【PBV15周年イベント】 東日本大震災から15年 支援のバトンを能登へ 立場を超えた連帯で描く災害支援の未来

災害支援を専門とする公益社団法人ピースボート災害支援センター（東京都新宿区、代表理事：山本隆、以下PBV）は、2026年4月5日（日）、横浜港に停泊中の客船パシフィック・ワールド号内にて設立15周年記念イベントを開催いたします。

東日本大震災から15年。ボランティアという「人の力」で始まった歩みは、今や行政、社会福祉協議会、企業、メディア、学術機関、支援団体と立場を超えた強固な連携へと進化しました。本イベントでは、被災住民や輪島市長、各界の専門家が一堂に会し、東北から能登へ、そして未来へと繋ぐべき災害支援のあり方を展望します。第一部のフィナーレには、作曲家・吉俣良氏が被災地への想いを込めた楽曲をピアノで生演奏。15年の軌跡を振り返り、次なる支援のステージを共に描きます。

■ 開催概要

- 日時：2026年4月5日（日） 14:00～17:30（受付開始13:00）
- 会場：横浜港 大さん橋国際客船ターミナル停泊 パシフィック・ワールド号船内
- 内容：トークセッション、避難所体験コーナー、記念展示、交流パーティーなど
- 特設サイト：<https://pbv.or.jp/avn15> ※右QRコードからもご確認いただけます



■ PBV15周年記念トークセッション

【第一部】15年の軌跡 ～東日本大震災から能登半島地震へ～

特別ゲスト：阿部 紀代子 氏（㈱八幡家 代表取締役・㈱街づくりまんぼう 取締役）
神徳 宏紀 氏（珠洲市社会福祉協議会・珠洲ささえ愛センター 主事）
坂口 茂 氏（輪島市長）

記念演奏：吉俣 良 氏（作曲・編曲家）

【第二部】災害支援の新たなステージへ ～現場・組織・人をつなぐPBVの役割～

特別ゲスト：阪本 真由美 氏（兵庫県立大学大学院 教授）
所澤 新一郎 氏（共同通信社 編集委員）
原 裕樹 氏（公益財団法人味の素ファンデーション 事務局長）

【メディア取材のお申し込みについて】

本イベントは外国客船内での開催となるため、**事前登録および乗船手続きが必須**となります。取材をご希望の方は、**3月19日（木）までに特設サイトよりお申し込み**いただいたうえ、下記のお問い合わせ先までメールにてご連絡くださいますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】 公益社団法人ピースボート災害支援センター 担当：古賀、小林
電話：03-3363-7967（平日10時～18時） / Email：members@pbv.or.jp